

質問回答

NO.	質問	回答
1	底質は冷凍保存をし、ある程度まとまってからの分析着手を実施してもよろしいでしょうか。	試料採取から分析測定までは、「化学物質と環境 化学物質分析法開発調査報告書」（以下「白本」という。）に示された分解性スクリーニング試験結果より、分解のない期間内とすることを原則とし、これによらない場合は、あらかじめ環境省担当者と協議すること。
2	リン酸トリブチル測定法は黒本を参考としているが、他のリン酸エステル類と同時に測れる可能性が高いと考えられます。添加回収率等の精度管理を満足できれば同時分析としてもよいでしょうか。	記載の分析法と同一の方法又はそれと同等以上の方法（適切な分析法バリデーションを行い、再現性、回収率等を担保すること。）であれば問題ない。
3	仕様書記載の要求検出下限値と白本記載の検出下限値にかなり乖離が見られるが、より低濃度の検出下限値を確保するとの理解でよろしいでしょうか。 (例 リン酸トリス(2-ブトキシエチル)は仕様書が $3\mu\text{g/L}$ で白本が $0.00037\mu\text{g/L}$)	分析測定は、白本に記載された分析法として行うことから、検出下限値については、検出レベル又はそれ以上に高感度な検出レベルにおいて行うこととする。
4	底質は1地点当たり3検体あると認識しているが、27地点で各3検体の合計で81検体を分析するとの理解で問題ないでしょうか。	問題ない。なお、業務としては、他に精度管理等に係る分析を実施する必要がある。